

おれんじ

NO.97

発行日 2025.6.17
発行・編集
土佐女子中学・高等学校
高知市追手筋2丁目3番1号
電話 875-3111 (代)

中・高六年間の中から

学校長 濱田 美穂



◆団塊の世代

私が生まれたのは昭和22年、戦後の第一ベビーブームと呼ばれた団塊の世代です。この年の日本の出生数は267万8792人で、令和6年（72万988人）の出生数と比較すると約3.7倍の出生数です。この出生数は、その後の成長過程に様々な影響をおよぼしました。

本校の中学入試もその一例で、昭和35年の受験者は1000人余り、令和6年の高知県の出生数3123人からは考えられませんが、合格者は512名で、64人の8クラスという新生入生集団でした。教室はすし詰め状態で、誰かが移動する際には、皆が立って机を動かして通路を作ります。それでも移動は常に横歩きでした。しかし、そんな窮屈な環境のなかでも私たちはとても賑やかで、バイタリティに溢れており、先生方から、「やかましい」と一日に何度も叱られる

のですが少しもへこたれず、毎日元気いっぱい過ごしていました。学校が楽しくて仕方がない日々でした。

当時の校舎は、南舎、西舎、北舎の三棟から成っており、西舎は、木造の二階建てで、校内では講堂と並ぶ古い建物でした。現在の、教職員自転車置き場の位置にあり、一階には北から、体育教員室、体育器具庫、用務員室（やかん置き場を兼ねていた）がありました。用務員室には年配の親切なお兄さんが住まれ、昼食時には大きなやかんに中・高48ホム分のお茶を準備してくださっていました。昼食時には用務員室にやかんを取りに行くのが、各ホムの日直の仕事の一つでした。

また、西舎の二階には四つの教室があり、ここは生徒たちの間では、「地獄の教室」と呼ばれていました。夏は西日が射し込むだけでなく、階下の用務員室で沸かす2400人分のお茶の湯気があがり、蒸し暑さが加わるからです。教室には扇風機もクーラーもありませんので、その暑さは想像を絶するものでした。中学二年生に進級すると、8クラスのうちの4クラスはその西舎に移動する

のですが、自分がどの教室になるのかは、一年生たちの大きな関心事でもありました。そして翌年、二年生になると私はこの西舎に移ることになりました。教室は、ただ暑いというだけでなく、月のうち決まった何日かは、隣の天理教からおとめの歌と笛、太鼓の音が流れ、5時間目にはそれが子守唄のように聞こえ、睡魔に襲われたことも鮮明に思い出されます。

◆古い講堂

現在の本校には、当時の面影はほとんど残っていませんが、その中で唯一変わっていないのはグラウンドの広さです。体育の授業は、ここで4クラスの授業が同時に行われ、いつもイモ洗い状態でした。地面はもちろん今のような全天候ではなく、雨が降ると2、3日はぬかるみ状態となり、当然、外での授業は中止です。天気が回復し、少し乾き始めたグラウンドに体育の先生方が朝から新聞紙を沢山敷き詰め、授業の準備をされていた姿も忘れられません。

そんな環境のなかで、体育館代わりになっていたのは平屋の古い木造の講堂でした。この建物は、今の保健室の辺りにあり、後に知ったことですが、明治44年に新築されたというかなり老朽化した建物でした。窓は少し風が吹いただけでも、棧がガタガタと音を立てていました。床もささくれ立っており、甲板拭きをしようにものなら、手にトゲが刺さる状態です。広さは112坪と「50年のあゆみ」に記されていますので、現在の北体育館（約100坪）とは同等の敷地面積だったのです。また、思い起こせば私たちの入学式もこの講堂で行われました。狭いので、上級生の参加はなく、入学生、保護者とも

に立ったままの式典でした。それでも場内は窮屈で、となり同士の体が触れ合っていたことです。そしてこの入学式は、私の6年間の学校生活のなかでも忘れられない出来事となりました。

それは入学式が終わって、帰宅が許された時のことです。後ろに参列していた母が、私を捜して必死で駆け寄ってきたのです。そしていきなり手を引いて、外に連れ出しました。一体何が起こったのか訳が分からないうちに、とにかく母に手を引かれ、学校を出て追手前高校の辺りまで、どんどん走りまわりました。やつと雑踏から離れたところで、母が私に「制服の襟と袖口の親子線の位置（内外）が反対になっている」というのです。当時は制服を家庭で縫っていた人も多く、母も同様でした。既製の服ならあり得ないミスです。しかし、当時からそんなことに無頓着だった私は、まったく気づいていませんでした。いち早くそれに気づいた母は、先生方からお叱りを受けるのではなく、いかと冷や冷やしていたそうです。帰宅するや否や必死で手直ししてくれました。あの時の母の焦った顔は、今でも入学式が挙行されるたびに脳裏に浮かぶ苦い思い出です。

◆生徒の皆さんへ

1960年代当時の教室や講堂に比べて、今本校はいろいろな面で好環境下にあります。しかし、設備がどうであれ、その中で紡がれる学びや育まれる友情がかけがえのないものであることに変わりはありません。生徒の皆さんには、悔いのない充実した学校生活を送ってほしいと願いますし、それを私たちが支えられることを喜びたいと思っています。

土佐女子中学校に入学して

一年 瀬戸ホーム 7番

小原 蘭

私は、これから土佐女子中学校で悔いのない楽しい学校生活を送っていききたいです。そのために三つのこと頑張りたいと考えています。

一つ目は、勉強です。中学校では小学校よりも教科が増え、学習はん困も広がり、レベルが格段に上がって難しくなると思います。けれど、難しい問題でもあきらめずに最後まで考えぬき、毎日の復習を継続するようにして一生懸命頑張りたいと思います。また、テストでは順位が出るので「常に上位をキープすること」を目標として頑張りたいです。

二つ目は、部活動です。小学校から続けているバレーボールを中学校でも続けようと考えています。新しい環境でのバレーボールは小学校の時よりも厳しいものになると思いますが、目標にしていた全国大会出場のために日々の練習に真剣に取り組み、先輩方をお手本として、上手になれるよう努力していきます。また、同級生はもちろん、先輩方とも積極的にコミュニケーションをとることでより良い関係を築き、学年を越えた交流も大切にしていきたいと思っています。

三つ目は、友達や仲間を大切にすることです。土佐女子では部活動や体育祭などの行事で、学年を越えてたくさんの人と関わる機会が増えます。加えて、地元の中学校に入学するのは違い、初めて会う友達との関わりが多くなります。そのため、まずは自分から相手を知るために努力し、常に周りの人のことを考えながら行動することを心がけたいと思います。

友達を大切にし、文武両道に努める学校生活を送りたいと思います。

一年 横山ホーム 4番

伊藤 可怜

私はこの春から土佐女子中学校に入学します。新しい環境での生活が始まることに期待と不安がありますが、自分なりに精一杯頑張りたいと思っています。

私は動物が好きなので、生物部に入りたと思っています。小さいころから動物にふれることが大好きで、現在家では猫を飼っています。オープンスクールで生物部を見学させていただき、うさぎやハムスターとふれ合うことができてとてもうれしかったです。生物部に入ることをとても楽しみにしています。また、同じ興味を持つ仲間と一緒に活動できることも楽しみの一つです。

一方で、中学校生活は小学校とは違い、勉強も難しくなり部活動と両立出来るか不安もあります。ですが、時間を上手に使い、計画的に取り組んでいきたいと考えています。予習、復習をしっかり行い、授業の内容を理解していき、わからないことがあれば、先生や友達に積極的に質問をし、苦手なところを克服していきたいです。

これからの三年間で、学ぶことの楽しさや努力の大切さを実感しながら、充実した中学校生活を送りたいです。新しい友達を作り、お互いに支え合いながら成長していけるように、自ら主体的に動いて一歩一歩進んでいきたいと思っています。知識を深めるだけでなく、勉強との両立を通じて責任感や自己管理能力も身につけたいです。

まだまだ不安がたくさんありますが、これからの中学校生活に向けて、前向きな気持ちで新たな一歩を踏み出したいと思っています。

合格体験記

『私の受験』

京都府立大学
生命環境学部 環境デザイン学科 合格

高瀬 悠奈

私が建築という分野に興味を持ったのは高校一年次でした。幼いころから工作や絵を描くことが好きで、デザインに関わる仕事がしたいと考えており、進路を考えていく中で人々の生活の基盤となる建物の設計に興味を持ち建築士になりたいと思うようになりました。一年次は、大学選びにとても悩みました。国公立で建築学部のある学校は偏差値が高く、一般入試では受かるはずがないと思っていたからです。そこで勉強だけでなく面接など様々な審査方法がある推薦という形で県外の国公立を受けることにしました。

教えあつたりして、良い刺激をもらいました。成績が上がるにつれて勉強が苦ではなくなり、さらなる成長につながったと思います。私は自分の家や部屋で勉強することが苦手だったので、日曜日の午前中は学校や図書館に行つて勉強の習慣を身につけました。また、二年生の途中から朝補習が始まり毎朝七時半に学校についていたので、三年生になって朝補習の回数が少なくなつてからは朝自習を行い学校に行つていました。勉強を続けるのは大変でしたが、毎朝同じ時間に勉強しに来る友人もいたので、続けることができました。

一年次から第一志望は変えず京都工芸繊維大学を目指しました。この学校は一次試験と二次試験に分かれており、一次試験の日程が十月の頭と推薦の中では早かったため、一次試験が合格だった場合のみ第二志望の京都府立大学の学校推薦を受けることにしました。国公立の推薦は専願が多く、一つの大学を受けることは珍しかったので募集要項を入念に確認して先生方にも相談しました。

結局第一志望は落ちてしまい、京都府立大学の推薦の対策を十月半ばから始めました。一回目の入試での経験もあり、小論文の対策が進んでいったことや、建築分野に関する知識を多少備えていたことで、ほかの人より対策が有利だったと思います。しかし一回目にはなかった面接対策には苦労しました。いろいろな先生に面接練習をお願いし、指導していただいた過程で自分のアピールポイントの少なさを痛感しました。知識は蓄えることができて実際に有名な建築物を訪れた経験がなかったからです。一年や二年の時にしておけばと後悔しました。それでも京都という土地で勉強するための最後のチャンスだと思い、近場の高知城を訪れたり、父に頼んで一級建築士の方と対話したりして自分なりの対策を続け、面接に関しては本番も自信をもって臨むことができました。これもひとえに多数の先生方がお忙しい中、時間を割いてくださったおかげです。本番では、筆記にあまり自信がなかったこともあり、面接の配点が高くてよかったと思います。結果が出たときは本当に嬉しかったです。

私は推薦を二回受けるという形をとりましたが、推薦はチャンスを増やすと同時に共通テストの勉強時間が他の受験生より少なくなるといったリスクも伴います。後々のことも考えたいうえで、自分の本当に行きたい大学に挑戦することが一番だと思います。

令和6年度 進学状況

- 国公立大学（神戸大学・東京都立大学・京都府立大学 他）30名 合格
- 難関私立大学（MARCH・関関同立）22名 合格 産近甲龍 27名、津田塾大学他 女子大学多数合格
- 薬学部 8名、教員養成・保育 15名、看護学科 20名 合格



※既卒生を含む

大学別合格者数一覧

学校名			合格者数	学校名			合格者数	学校名			合格者数	学校名			合格者数
国公立大学	神戸大学		1	私立大学	国士舘大学		1	私立大学	関西外国語大学		2	私立大学	倉敷芸術科学大学		1
	香川大学		1		駒澤大学		2		近畿大学		6		安田女子大学		2
	高知大学		2		芝浦工業大学		1		四天王寺大学		2		日本赤十字広島看護大学		2
	釧路公立大学		10		順天堂大学		1		帝塚山学院大学		1		四国大学		2
	旭川市立大学		1		専修大学		1		阪南大学		1		徳島文理大学		3
	東京都立大学		1		玉川大学		1		藍野大学		1		高知リハビリテーション専門職大学		3
	都留文科大学		1		津田塾大学		1		関西学院大学		4		高知学園大学		5
	長野大学		1		東海大学		1		甲南大学		1		高知健康科学大学		4
	京都府立大学		1		東京工科大学		1		甲南女子大学		3		西南学院大学		1
	芸術文化観光専門職大学		2		東洋大学		3		神戸学院大学		4		(79 大学 189 名)		
(13 大学 30 名)			私立大学	二松学舎大学		1	私立大学	神戸女学院大学		5	短期大学	自由が丘産能短期大学		1	
私立大学	島根県立大学			1	龍谷大学			18	神戸女子大学			3	高知学園短期大学		11
	高知工科大学			2	京都看護大学			1	神戸薬科大学		2	(2 大学 12 名)			
	高知県立大学			6	追手門学院大学			1	兵庫医科大学		1	その他	【専門学校】(県内)		11
				武蔵大学		1		兵庫大学		1	【専門学校】(県外)		8		
	医療創生大学			1	明治大学			1	武庫川女子大学		8		【公務員】		2
	獨協医科大学			1	明治学院大学			2	関西福祉大学		2		【就職】		1
	和洋女子大学			1	立教大学			3	姫路大学		1		(22 名)		
	青山学院大学			1	愛知医科大学			1	畿央大学		1	総計 253			
亜細亜大学		1		中京大学		1		岡山理科大学		2					
桜美林大学		1	人間環境大学		2	川崎医療福祉大学		1							
大妻女子大学			1	平安女学院大学		1	関西大学		4						

令和7年度 生徒会役員																						
【中学】												【高校】										
生徒会長	生徒会副議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒会長	生徒会副議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒議会議長	生徒会長
高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2	高2
中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川	中川
高橋	前田	大崎	南部	鍵山	池上	岡田	澤村	岡本	小林	三吉	石井	宮本	小田	平野	岡林	植田	大木	竹崎	足達	西川	宮	瀬戸
ひなの	玲	鞠愛	真央	那月	歩花	そら	星里奈	真季依	千乃	楓夏	葵衣	明凛	千紗	帆奏	恭生	千明	つむぎ	怜那	天音	愛々	七巴	

変わらないもの

生徒部 岡村 豊明

もう10年以上前のことになると思うが、全国高等学校総合文化祭に部門別の代表選手として出場する本校生徒を引率し、その開会式に出席したときのことである。

開催地の市長や開催部門の技術的専門家、担当の学校の校長など、そうそうたるメンバーの謝辞や祝辞等の後、

ある高等学校の女子生徒による生徒代表スピーチが始まった。全国大会での大人たちの仰々しいあいさつの後にもかかわらず彼女は実に堂々としていて、その場の緊張感に飲まれる気配はなく、その内容の秀逸さに舌を巻いた。冒頭の来場者への歓迎あいさつから開催の喜び、関係者への感謝、

テーマの紹介、準備の過程における仲間たちの努力と結束、さらには開催県としてのアピールポイント、伝えたい思いなどが見事に包括されていて、会場全体が彼女の話に引き込まれていた。

しかし、私がこの時のことを鮮明に記憶しているのはもう一つの理由がある。推敲を重ねて慎重に吟味されたであろう内容に丁寧な結びの言葉を添え、満を持してスピーチを終えた彼女はその後、お辞

単に外面的なお辞儀の角度やタイミングが適切かどうかだけではなく、内面的な柔和さやしなやかさ、凛々しさを感じる。

儀もそこそこにぞんざいな様子で足早に自分の席に戻っていた。その瞬間に私の中で芽生えていた彼女への感心が、一気に半分以上になってしまったのである。たかが礼ひとつであるが、こんなにも印象が一変するものかと恐ろしくなった。

本校では礼法の授業や卒業式、入学式などの式典指導を通して、生徒は徹底して礼の仕方を学ぶ。新入生たちは、入学式の予行練習の時に初めて本校の式典の雰囲気に触れる。最初のうちはいささかきこちなく頼りない所作でも、

彼女たちは短時間のうちに見様見真似で成長していき、本番の入学式では本校の生徒として立派な立ち居振る舞いができるようになるのである。

この伝統の力にはいつも感嘆する。いくぶん手前みそになるかもしれないが、本校生徒のお辞儀には「気品」がある。うまく説明できないが、

そんな変わりゆく社会や学校において、変わらないもの、変わってはいけないものとして、本校の教育理念の一つである「気品」があるのだと思う。本校生徒には、これから

も変わらず「気品」ある美しい礼をし続けてほしい。



バドミントン部

第53回全国高等学校選抜バドミントン大会
四国地区予選会 団体 優勝

1月18日(土)・19日(日)にとくぎんトモニアリーナで第53回全国高等学校選抜バドミントン大会四国地区予選会が行われまし



た。18日の個人戦では西森夕華選手のシングルス4位が最高で、惜しくも全国選抜大会の個人戦出場は手に入ることができませんでした。19日の団体戦では、1回戦徳島県東高校戦でお互いに粘りあいの試合が展開され、3・2で勝ち決勝戦へ進むことが出来ました。

決勝戦は高松商業高校と対戦し、再び2・2で回ってきたシングルスで、キャプテンの安岡七瀬選手が奮闘し、ファイナルセットまでもつれ込み、逆転勝ちで四国団体優勝を決めました。

県外で勝つことは難しい中、諦めずによく頑張ったと思います。今までの経験はきっと無駄ではなかったんだと感じられた2日間でした。

演劇部

薫風の境内で 劇団かふえいん上演

気持ちよく晴れ渡ったゴールデンウィーク。高知市洞ヶ島町の薫の神社境内にあるくんでき会館で、高知県高等学校演劇祭が行われました。特設のステージに高知県内から11校の演劇部が集まって、日頃の創作活動の成果が披露されました。

土佐女子演劇部の演目は、「たかえ先生への手紙」。年老いた、たかえ先生の元に懐かしい生徒たちから不思議な手紙が届くお話です。この日、舞台上に立ったのは、中学2年生から高校2年生の部員たち12名。照明や音響などの係もあわせて総勢19名で、あいでもない、こーでもないとい工夫を重ねて創ったお芝居です。

終演後のくんでき会館は、あたたかな拍手に包まれ、爽やかな風が吹き抜けているようでした。部長の高2、寺下奈那さんは、「舞台と客席の距離が近く、お互いの表情や心の動きが伝わって、お客さまとの一体感を感じることができました。」と話していました。



何気ない毎日の中にある「真実かもしれないもの」を大切にしたい舞台創りを心がけている「劇団かふえいん」こと、土佐女子演劇部。秋のコンクールは、南国市のミアーレで行われます。皆さま、ぜひ足をお運びください。

令和七年度 後援会役員人事

4月26日改選

会長	松岡 良展	高3
副会長	前田 彰	高2
〃	嶋崎 誠	高3
〃	濱田 美穂	校長
評議員	上村 輝之	中3
〃	北村 隆政	高3
〃	岡 紘史	高2
〃	北本 哲也	高1
〃	富木田 裕士	高1
〃	久武 宣興	中3
〃	千頭 智洋	中3
〃	濱田 彦次朗	中2
〃	廣瀬 雅彦	中2
監事	松井 晶久	高3
〃	吉良 祝人	中3

令和七年度 後援会支部長

高知東門脇	人志	高1
高知中央	天羽 智彦	高2
高知北	上村 輝之	中3
潮江・朝倉	西岡 淳子	高3
高知南・土佐市	武田 真苗	中3
室戸・中芸・安芸	柿内 真由美	高2
香南・香美・南国	島津 佐知子	高2
いの・佐川・越知・旦高	岡田 慎二	高2
須崎・四万十町	嶋崎 誠	高3
幡 多	長山 千登勢	中2



(写真提供・テレビ高知)

「高知! 中高生ニュース」に出演!

マンガサークル部
取材・放送部

この番組は、県内の学校の部活動や魅力的な取り組みを在校生徒がリポートし、がんばる中高生を応援するというものです。本校は、昨年のバドミントン部、邦楽部に続いての出演となりました。

マンガサークル部は、中高あわせて20名。お題を決めてイラストを描いたり、年に3回部誌を発行したり、文化祭やまんが甲子園に向けて案を練ったりと、楽しみながら切磋琢磨して活動しています。

取材の最後に「まんが甲子園公式キャラクターの『ベタ』を、見ずに描く」というチャレンジ企画がありました。部長の高3永野裕乃さんは、短時間で見事に完成させました。

永野さんは、「緊張したけど、部の魅力が少しでも伝わればうれしいです。チャレンジは少し心残り…。もう一度やりたいな。」と語ってくれました。

過去の動画は、番組のYouTubeで視聴できます。今回は、県優勝で31年ぶりの全国大会進出を果たしたソフトテニス部取材する予定です。どうぞお楽しみに!

主な活動実績 (令和6年度)

バレーボール部

- 四国高等学校新人大会 第4位
- 高知県高等学校体育大会 第3位
- 四国中学校総合体育大会 3位
- 高知県中学校体育大会 優勝
- 高知県中学校春季選手権大会 優勝
- 高知県中学校秋季選手権大会 優勝

ソフトテニス部

- インターハイ
【個人ダブルス】出場
- 四国高等学校選手権大会
【団体】ベスト8
【個人ダブルス】出場
- 高知県高等学校体育大会
【団体】準優勝
【個人ダブルス】ベスト8
- ハイスchoolジャパンカップソフトテニス
高知県予選【シングルス】優勝
- 高知県高等学校夏季大会
【個人ダブルス】優勝
- 四国中学総合体育大会
【団体】出場
【個人ダブルス】ベスト8
- 四国中学校インドア大会
【団体】ベスト8
【個人ダブルス】ベスト8
- 高知県中学校総合体育大会
【団体】優勝
【個人ダブルス】優勝

バドミントン部

- インターハイ
【団体】2回戦進出
【ダブルス】【シングルス】出場
- JOCジュニアオリンピックカップ
【ダブルス】【シングルス】出場
- 全国高等学校選抜バドミントン大会選手権大会
【団体】2回戦進出
- 四国高等学校選手権大会
【団体】ベスト8
【シングルス】【ダブルス】出場
- 全国高等学校選抜バドミントン大会
四国地区予選会【団体】優勝【シングルス】4位
- 高知県中学校総合体育大会
【団体】優勝【ダブルス】優勝【シングルス】準優勝
- 高知県中学校春季選手権大会
【団体】優勝【ダブルス】優勝【シングルス】準優勝
- 高知県中学校秋季選手権大会
【団体】【ダブルス】【シングルス】優勝
- 高知県中学校冬季選手権大会
【団体】【ダブルス】優勝

卓球部

- インターハイ
【個人ダブルス】ベスト8
【個人シングルス】3回戦進出

- 全国高等学校選抜卓球大会
【団体】ベスト16
- 大阪国際卓球選手権大会
【個人ダブルス】2回戦進出
【個人シングルス】2回戦進出
- 四国高等学校卓球選手権大会
【団体】ベスト4
【ダブルス】優勝
【シングルス】2位
- 全国高等学校選抜卓球大会四国地区選考会
【団体】準優勝
- 四国卓球選手権大会(ジュニアの部)
【団体】ベスト4
【シングルス】優勝
- 全国中学校卓球大会(全中)
【団体】優秀13校表彰
【シングルス】2回戦進出
- 四国中学校総合体育大会
【団体】第2位
【シングルス】第2位
- 四国中学校選抜卓球大会
【団体】第2位

水泳部

- 世界ジュニア選手権(飛込:リオデジャネイロ)
【チーム戦】第5位(日本代表)
- インターハイ
【高飛込】第5位
【板飛込】6位
【女子3mシンクロ】優勝
【100m平泳ぎ】出場
- 全国JOCジュニアオリンピックカップ
【高飛込】第5位
【板飛込】6位
【女子3mシンクロ】優勝
- 全国中学校総合体育大会
【飛込女子】最優秀選手賞(2年連続)
【高飛込】優勝(2年連続)
【3m飛板飛込】優勝(2年連続)
- 四国高等学校選手権大会
【100m平泳ぎ】優勝

ダンス部

- 全国高等学校ダンスドリル選手権大会
【HIPHOP女子部門 Medium編成】第4位
- 全国高等学校ダンスドリル冬季大会
【HIPHOP女子Large編成】第5位
- 全国高等学校ダンスドリル中国四国大会
【高校生 HIPHOP女子部門 Medium編成】優勝
- ダンスドリル秋季競技大会 中国四国大会
【高校生 HIPHOP女子部門 Large編成】優勝
【中学生 HIPHOP女子部門 Medium編成】優勝

硬式テニス部

- インターハイ
【個人シングルス】出場

- 四国高等学校選手権大会
【団体】出場
【個人シングルス】出場
- 高知県高等学校体育大会
【団体】3位
【個人シングルス】優勝

陸上競技部

- 四国高等学校対校選手権大会
【4×100mR】出場
【個人100m/200m】出場
- 四国中学校総合体育大会
【女子中2/100m】8位
【走幅跳】出場

新体操部

- 四国高等学校選手権大会
【個人】出場
- 高知県高等学校体育大会
リボン:1位・3位 クラブ:2位・3位 総合:2位・3位
- 高知県高等学校春季選手権大会
リボン:2位・4位 クラブ:1位・2位 総合:1位・3位
- 高知県高等学校秋季選手権大会
リボン:1位・3位 クラブ:1位・3位 総合:1位・3位
- 高知県高等学校冬季選手権大会
リボン:3位 フープ:1位・2位 総合:1位・2位

バトン部

- 全国共通規定演技バトンコンテスト
四国大会【個人】金賞

弓道部

- インターハイ【団体】出場
- 四国高校選手権大会【団体】ベスト8
- 高知県高等学校体育大会【団体】優勝
- 四国中学生弓道大会【団体】準優勝

コーラス部

- 全国高等学校総合文化祭
【団体】合唱専門部会長賞
- 全日本合唱コンクール
四国支部大会【高等学校の部】銀賞
- NHK全国学校音楽コンクール
四国大会【高校】奨励賞
- 高知合唱アンサンブルコンテスト
【高校部門】金賞

演劇部

- 四国地区高等学校演劇研究大会
第3位
- 高知県高等学校演劇コンクール
最優秀賞

吹奏楽部

- 全日本吹奏楽コンクール四国支部大会
【高等学校A部門】金賞

- 全日本マーチングコンテスト
四国支部大会【高等学校以上の部】金賞
- 第53回高知県吹奏楽祭
最優秀賞

邦楽部

- 全国高等学校総合文化祭
【日本音楽部門】出場
- 高知県高等学校連合音楽会
【日本音楽部門】金賞
- 全国高校生伝統文化フェスティバル全国校公演
【日本音楽部門】出演
- 全国小・中学生箏曲コンクール 出場

書道部

- 産経ジュニア書道コンクール
【B部門】秀逸賞・入選
- 高野山競書大会
高野山管長賞・特選
- 全日本高校書道コンクール
優秀賞
- 全国書道展
奨励賞・優秀賞
- JA書道コンクール
入賞
- 全国学生書道展
奨励賞・書道芸術院理事長賞
- 全国高校書道パフォーマンスグランプリ
西四国大会 3位

フォークソング部

- 高知県高等学校軽音楽発表会
優秀賞

放送部

- NHK杯全国高等学校放送コンテスト
アナウンス部門に出場
- NHK杯全国中学校放送コンテスト
アナウンス部門に出場
- 全国高等学校総合文化祭
アナウンス・朗読部門に出場

華道部

- 小原流学生いけばな競技会
中国・四国地区大会【団体】出場

生物部

- 高知県高等学校総合文化祭
自然科学部門【団体】最優秀

囲碁部

- 全国高等学校総合文化祭
【団体】出場・【個人】出場
- 全国高等学校囲碁選手権大会
【個人】出場